

美川っ子

R4.6.21 文責 大達高弘

陸上練習・大会を通して…

6月2日(木)は授業公開日でした。お忙しい中、たくさんの保護者の皆様にご来校いただき、子どもたちの学習の様子を観ていただきました。その際、4年生以上は校内陸上記録会を観ていただきました。5月に行われた小体連陸上大会が無観客開催だったため、1ヶ月以上にわたって取り組んだ陸上練習の成果、たくましく成長した姿を保護者の皆様に観ていただきたいと考えたのでした。



記録会の終わりの式で、私は子どもたちに「みんなはこの1ヶ月で変わりました。陸上練習そして大会を通して、自分の何が変わったかを考えてください。」と話しました。なぜこのような願いをしたかという、1ヶ月もの長い時間をかけ、苦しい思いをして頑張った陸上練習にどんな意味があり、それをやり通したことで何が変わったのかを考えることで、自分自身を見つめてほしいと思ったからです。

- 陸上練習を通して変わったことは、タイムとリレーメンバーを大切にしたこと。練習の時にタイムが縮まらない時、みんなでいいところを言ったり、気をつけたらいいところをみんなで話したりして仲間を大切にすることができました。
- 陸上練習を通して変わったことは心の強さです。今まで家で野球の素振りをするのが面倒くさくてたまに休むことがあったけど、最近休まずに自分から取り組むようになったところが自分では変わったところだと思いました。
- 陸上練習を通して変わったことは、あきらめないことです。ぼくはタイムを速くしたいと思ってあきらめずに本気で走りました。大会の時は児童役員で走れなかったけど、陸上記録会であきらめずに走れたのでよかったです。

自分の変化として、記録の短縮や技能の向上を書いた子どももいましたが、上記のように、自分の内面の変化に気づいた子どももいました。何か一生懸命に取り組んだ際に、自己を振り返り、自身の変化や成長に気づくことは、とても大切なことだと私は考えます。変化や成長は頑張りの成果であり、自分で手に入れたとても尊いものです。そして、そういう変化や成長の積み重ねが自分への自信につながっていくのだと思います。

陸上練習、大会への参加を通して、4年生以上は様々なものを入れ、変化・成長しました。その姿は本当に輝いていました。

浜田市小学校陸上競技大会

5月30日(月)、小雨の中、浜田市小学校陸上競技大会が開催されました。大会に向け、体育の時間や放課後を使って一生懸命に練習に取り組んできた美川っ子。何度も何度も繰り返しリレーのバトン練習をする姿を私は目にしました。今年度もコロナ禍ということで、無観客・規模縮小での大会でしたが、美川小学校は4年以上の全員が陸上競技場へ行き、選手または児童役員として活躍しました。

リレーの時には、練習ではなかったような見事なバトンパスでお互いの【心】をしっかりとつなぎました。また、児童役員の子どもたちは大会を支えるという自覚と責任をもって役割を果たしました。大会終了後には、多くの役員の先生方から「ほんとに礼儀正しく、一生懸命に働いてくれた」というお褒めの言葉をいただきました。選手はもちろん、児童役員として目立たない所でも一生懸命に頑張ってくれた美川っ子を、校長として誇りに思います。素晴らしい陸上競技大会でした。

★陸上競技大会入賞者★

○5年女子100m	齋藤 彩羽(1位)	15秒93
○6年女子100m	多原優樹菜(6位)	15秒83
○5年男子100m	渡邊 凜旺(6位)	16秒16
○6年女子学校代表4×100mリレー	田畑真那実・長見麗美・石津由奈・多原優樹菜	65秒89

栽培漁業そして命の大切さを学ぶ

ヒラメ稚魚放流体験事業

6月8日(水)、浜田市主催のヒラメ稚魚放流体験事業に5年生が参加しました。この事業は、栽培漁業推進の一環として、次世代を担う小学生が栽培漁業の目的や漁業関係者の取組について学び、理解を深めるために実施されたものです。

事業への参加が決まった時から、5年生はこの日を心待ちにしていました。当日は天候にも恵まれ、浜田市長様と一緒にヒラメの稚魚を放流したり、稚魚養殖場で餌やり体験をしたりしました。普段できない貴重な体験を通して、栽培漁業について学ぶとともに、命の大切さを改めて考える貴重な機会になりました。



【おおうらの浜での放流体験】



【古和養殖場での餌やり体験】

《児童の感想より ～一部抜粋～》

市長さんが「20～30年の間に魚の数が減ってきている」と言われ、とても驚きました。野菜や果物、米などを人の手で育てるのと同じように、ヒラメも小さい時は人の手で育てて海に放流していることも分かりました。無事に放流することができてよかったです。浜田をもっと魚の街にしていきたいと思いました。

修学旅行に行きました！！（6年生）



【出雲大社で参拝】



【朝の央道湖畔を散歩】



【国宝：松江城にて】



【松江フォーゲルパークにて】

6月9日（木）・10日（金）、雲雀丘小学校との連合修学旅行に出かけました。感染症対策を講じながら制約の多い旅行でしたが、子どもたちは、雲雀丘小児童とともに、修学旅行のめあて「歴史について深く学ぶ」「時間を守る事の大切さを学ぶ」「集団行動をする時のルールやマナーを学ぶ」「お互いのことを思い合い、楽しい思い出をつくる」を意識し、自分達の手で素敵な修学旅行をつくり上げました。どの見学場所に行っても一生懸命にメモを取り、学ぶべきところは学び、楽しむところはしっかり楽しむというメリハリをつけ、とても連合とは思えないまとまり、仲の良さでした。修学旅行はただ楽しむだけではなく、旅行の事前学習・準備から事後のまとめ・振り返りまでを通して、何を学ぶか、どんな力を身につけるかが重要です。まさに、それを体現したとても充実した修学旅行となりました。

ICT 活用授業改善研究指定校として

美川小学校は今年度、浜田市教育委員会より【浜田市 ICT 機器を活用した授業改善研究指定校】の指定を受けています。取組の成果を市内小中学校の先生方に年2回公開し、主体的・対話的で深い学びに向かった授業の充実を図ることになっています。その1回目となる公開授業が6月15日（水）にありました。約30名の市内各小中学校の先生方にご来校いただき、ICT 機器を活用しながら、個人、グループ、そして学級全体で思考を深めるという5年生の国語の授業を公開しました。5年生は緊張しながらも、自己や友達との対話を通して自らの思考を深めていました。

本校では昨年度から積極的にICT 機器を授業に取り入れていますが、ICT 機器を使用することが目的ではなく、あくまでも学習の目的を達するための手段・道具として、これからも機器を有効に活用した授業づくりを目指していきたいと考えています。



【タブレットを使ったグループでの話し合い】

きれいな音色に感激！！

スペシャルスクールコンサート

6月17日（金）、浜田市芸術文化振興事業の一環として、学校を対象に開催されるスクールコンサートがありました。音楽活動を通して石見地域の文化をより良くしていくために、浜田市と江津市にUIターンされた音楽家のみなさんでつくられた吹奏楽団体：ハイブリッドウィンドオーケストラから、3名の奏者をお迎えしてのコンサートでした。ピアノ、オーボエ、ホルンの3種類の楽器による素敵な演奏で、子どもたちは、音色の美しさ、音の重なり心地よさなどを感じながら、演奏に聴き入っていました。途中知っている曲が演奏されると嬉しそうにリズムをとったり、体を揺らしたりしながら、コンサートを楽しみました。【本物】を感じることができた素敵な時間になりました。



【コンサート後の児童の感想】

- ホルンの音がぞうみたいでした。ミッキーマウスマーチでおどったのが楽しかったです。また来てください。（1年生）
- ぼくはピアノを習っていて、とても音楽が好きです。なので、スクールコンサートと聞いて、とてもうれしかったです。最初にオーボエとホルンの音はどんな音なんだろうと思っていたので、聞くことができるととてもうれしかったです。どの楽器もとてもきれいな音だったのですごいなあと思いました。（3年生）
- めったに音楽や歌を聞きに行くことがなかったので、今日は聞けてよかったです。オーボエ、ホルン、ピアノ、この3つの楽器の音を一度に全部聞いた時、とてもきれいだなと感じました。最後に演奏してくださった美川小学校の校歌がとてもきれいな音色でよかったです。今日のスクールコンサートはとてもよかったです。（6年生）

7月の主な行事

- 1日（金）クラブ⑥
- 7日（木）外国語（ALT）
- 13日（水）SC来校日（PM）
- 14日（木）外国語（支援員）、第3回PTA運営委員会
- 15日（金）全校テスト（国）
防犯教室（1・2年）※予定 委員会⑥
- 19日（火）校外班会 大掃除 ラブック号
- 20日（水）1学期終業式 給食終了（13：30 下校）
- 21日（木）夏季休業スタート 個人懇談
- 22日（金）個人懇談
- 27日（水）のびっこ学習（AM 4～6年生希望者）
- 28日（木）のびっこ学習（AM 4～6年生希望者）

